

令和8年熊本地震 くらし再建・復興に向けた意見交換会(東区)

日時	令和8年9月7日(月) 18時00分 ～ 20時00分
場所	東部公民館 ホール
参加者	28名

番号	意見 交換会	ご意見	当日の回答内容
1	東区	東町小学校体育館に冷房がなく、猛暑時や授業期間中の運営が困難。空調を早急に整備してほしい。	今年度から4年間(令和11年度まで)で全体育館への空調整備を進め、予算も措置済み。国の方針も踏まえ、施工条件を検討し可能な限り前倒しする。
2	東区	車中泊避難に対応できるよう、公園の車止めの開閉主体と連絡方法を明確にし、災害時に地域で開閉できるようにしてほしい。	具体的ルールが十分でない可能性があり、公園愛護会との連絡方法を含め確認・検討する。
3	東区	避難所の安全点検実施者を明確にし、可能なら専門技術者が確認してほしい。	安全確認と開設方法を危機管理部門で再確認し、地域へ周知する。
4	東区	自治会役員は町内の確認と避難所運営の両立が困難。運営組織の見直しが必要。	地域の実情を踏まえ、役割分担や避難所運営委員会の在り方を検討する。
5	東区	危険家屋から家財を搬出する場合の相談先を明確にしてほしい。	危険家屋もボランティアセンターの取扱いでよいか確認し、後日回答する。当面は区役所等へ相談してほしい。
6	東区	ごみ置場の未回収の家電等について、本人しか依頼できない運用の改善、大型ごみの一時集積場所の設置を求める。	現場と受付対応を直ちに確認する。一時集積場所を検討し、ごみゼロコールの災害対応力を強化する。
7	東区	若者から高齢者まで参加する防災連絡会・避難所運営委員会へ再構築するための支援をしてほしい。	実災害で明らかになった課題を踏まえ、年代の異なる人や女性の視点を取り入れて改善する。
8	東区	被災し使用できない地域公民館の再建を支援してほしい。	再建を支援する制度を検討するとともに、国にも要望している。
9	東区	道路・側溝の陥没や沈下が悪化し浸水リスクが高い。仮補修でなく本格復旧してほしい。	関係部門を含めて対応を検討する。悪化箇所の情報提供を受け、ソフト・ハード両面で対策する。
10	東区	防災士の知見や無線を活用し、避難所運営と訓練を毎年改善したい。	防災士の知恵を取り入れて体制を改善し、地域に合う情報伝達方法と支援を検討する。
11	東区	TKB48に基づく避難所環境の整備、国主導の体制要望、本市での訓練を求める。	本年5月に訓練を実施。今回もテント、段ボールベッド、食事、キッチンカー等を導入。相互応援と装備を充実する。
12	東区	避難者が来た場合、地域の判断で避難所を開設できる仕組みを整理してほしい。	現行は震度6弱で全避難所を開設。地域独自開設は未ルール化だが今後検討し、当面は現行ルールを共有する。

番号	意見 交換会	ご意見	当日の回答内容
13	東区	GHP空調がガス停止時に使えるか確認し、代替電源も検討してほしい。	ガス停止時の動作を確認し、非常用・ポータブル発電機を整備する。その他資機材(マンホールトイレ等)も含め、使用方法も地域へ周知する。
14	東区	高齢者や障がい者に情報が届かず取り残される懸念がある。アウトリーチを強化してほしい。	巡回と被災者カルテによる個別支援を実施中。支え合いの体制を整え、紙も含め情報提供を強化する。
15	東区	避難行動要支援者名簿が自治会に共有されていても、名簿だけでは必要な支援が分からない。自治会任せにせず個別の避難方法を具体化してほしい。	自治会、ささえりあ関係者、各種団体と連携し、ケースごとの対応と連携先を具体化する。
16	東区	地域の協力者も活用し、職員に無理が生じない避難所運営体制を整えてほしい。	交代体制と応援職員を活用している。配置、交代、引継ぎ、地域協力をさらに検討する。
17	東区	企業や通勤・通学者を企業市民と捉え、地域防災の人的支援に活かしてほしい。	企業の人的支援は重要。平時から顔の見える関係と人的・企業ネットワークを形成する。
18	東区	避難所への保育士配置など、災害時のこどもの居場所を検討してほしい。	保育士配置案を含め、安心して災害対応できる環境と預かり体制を研究する。
19	東区	自治会の縦のつながりに加え、企業、NPO、福祉・医療法人、ボランティア等との横のつながりを広げてほしい。	行政と自治会だけではなく、縦と横のつながりを強化する。
20	東区	避難所へ行けない要介護高齢者等への対応について病院受入・搬送の事前共有をしてはどうか。	災害時の搬送を含む病院の受け入れ態勢等の情報共有、集いの場としての企業施設の活用、外国人との交流・情報伝達を進める。
21	東区	高齢者が集う場所が失われ、フレイルの進行が懸念されるため、地域企業が、災害時に貸し出せる場所を事前に登録するなど協力いただければ、地域の集いの場を継続できる。	災害時の搬送を含む病院の受け入れ態勢等の情報共有、集いの場としての企業施設の活用、外国人との交流・情報伝達を進める。
22	東区	商店街が営業継続することで復興につながる。防災チームの立ち上げ、避難所への誘導者、来街者への対応等商店街として誘導の役割を整理したい。	多言語案内や避難場所・帰宅困難者受入場所の周知を含め、防災チームと連携したい。
23	東区	テレビ、エアコン等の被害が多く、大型家電は固定しても壁ごと損傷する場合がある。	家電の転倒防止は重要であり、電器店から固定方法等の知恵を得たい。